

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2374500607
事業所名	グループホームはるすのお家 尾張旭

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 入居者が地域の中でこれまでと変わらない生活を過ごしてもらえるように、そして地域の一人として行事への参加だけでなく、地域の清掃活動や小学生の下校時の見守りなど入居者と一緒に取り組み、地域に暮らす意味を管理者を始め職員全員が考え取り組んでいる。日頃のかかわりを通して、地域の方からも理解を得られるようになり、入居者が一人で外出された時には声をかけてくれたり、温かく見守ってくれる存在になっている。散歩で公園に立ち寄り子ども達から声をかけてくれるなど良好な関係がうかがえる。	評価
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 市の担当者、民生委員、入居者、家族、管理者、職員をメンバーとして2カ月に1回運営推進会議を開催している。オブザーバーとして他のグループホームの管理者が参加することもある。議事録や外部評価の結果はホームページに掲載されており、誰でも見ることが出来る。会議では家族から活発に意見等があげられており、運営に活かしている。	評価
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4） 市が主催する認知症サポーター養成講座に参加したり、事業所合同で行う研修会においては、会場の手配や事業所への通知等の協力をいただいた。また、入居者が離脱した時には、地域の事業所や市の協力もある等、協力関係が築かれている。	評価
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族の訪問時には職員が入居者の日常の様子を伝えており、重要なことは必ず管理者が家族に伝えている。家族の来訪は多く、一緒に外出される方もいる。ホームページにはブログが掲載され、入居者の日常の様子が写真で紹介され、多くの家族が見ており訪問時にはコメントをもらったりしている。家族アンケートの結果からも「利用者、家族の要望を第一に考えて柔軟に対応してくれる」と職員の対応の良さが評価されており、良好な関係がうかがえる。	評価
重点項目	その他軽減措置要件 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価						

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。